フォーライフ
For Life
マイチョイス

変額終身保険Ａ型
特別引出特約（終身保険用）

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額終身保険のリスクと手数料について

● 変額終身保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高・解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。

● 本保険商品はオリックス生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金等とは異なり、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
● 解約・一部解約を行った場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
● 契約時費用：一時払保険料・増額保険料の5%
この保険契約の締結などに必要な費用です。一時払保険料や増額保険料の5%相当額が保険料のファンドへの繰入の際に保険料から控除されます。
● 保険関係費用：資産残高に対して年率2.15%
新規契約の成立や維持等に必要な費用ならびに死亡保険金を支払うために必要な費用です。ファンドの資産残高に対する割合（率）で決められており、資産残高にこの割合（率）を乗じた金額の1/365が資産残高から毎日控除されます。
● 運用関係費用：投資信託の信託財産に対して年率0.5445%程度（税抜年率0.4950%程度）
ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対し所定の率を乗じた金額が毎日控除されます。
信託報酬のほか、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用はファンドがその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
● 年金管理費：相続年金額の1%
相続年金を受け取る場合、年金受取時に控除されます。

※ この商品にかかる費用の合計額は、「ご契約時の費用（「契約時費用」）」と「保険期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」となります。また、特定のお客さまには「増額時の費用（「契約時費用」）」および「年金管理費」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社
本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-142

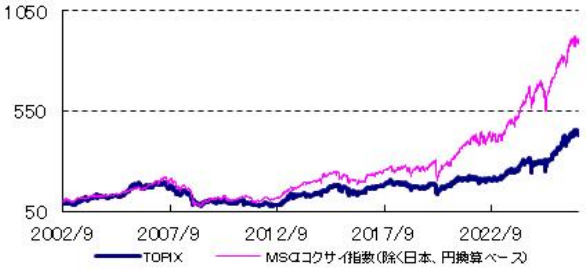
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

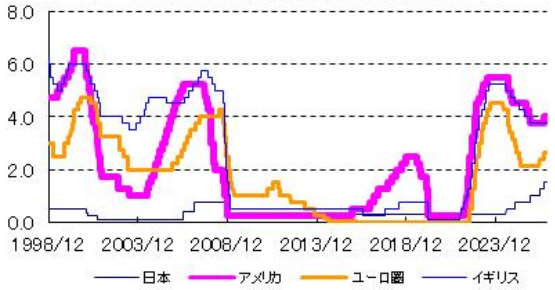


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)**		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	
	日本	外国	日本	外国					（百万円）
世界アセットH7 SS	●	●	●	●	グローバルバランス50VA＊	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	96.5%	3.5%	35

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。
**資産配分比率は、基準日時点での申込ベースの値です。組入投資信託の運用レポートに記載された純資産総額は、基準日時点での設定ベースの値です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
グローバルバランス50VA＊	日本株式、外国株式、日本債券、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とします。外国株式部分のうち25%については為替ヘッジを行います。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.47%	−0.44%	1.16%	3.02%	24.64%	79.62%

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットH7 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス50VA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針

日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とします。外国株式部分のうち25%については、為替ヘッジを行います。

作成基準日: 2026年10月30日

当ファンドはファミリーファンド方式による運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

日本株式インデックス・マザーファンド：「TOPIX（東証株価指数、配当込み）」
日本債券インデックス・マザーファンド：「NOMURA-BPI総合」
外国株式インデックス・オープン・マザーファンド：「MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）」※
外国債券インデックス・マザー・ファンド：「FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）」

※外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な外国株式資産40%のうち25%部分については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）となります。

ファンドの状況

		前月末比
基 準 価 額	25,392円	+167円
純 資 産 総 額	78百万円	-0百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

基準価額の騰落率と推移

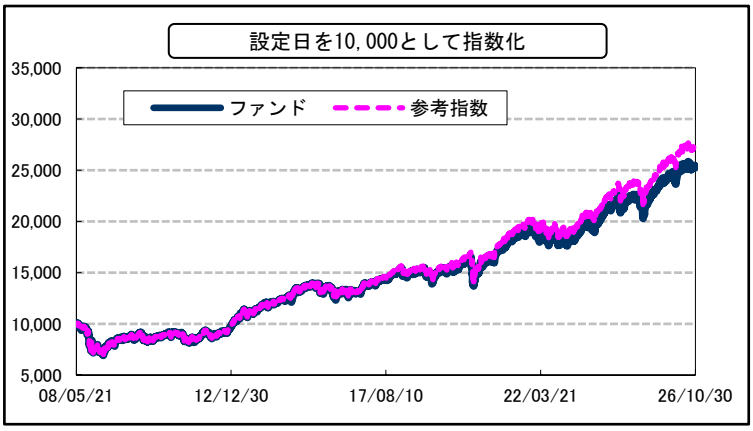
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.66%	-1.16%	0.09%	2.30%	5.36%	33.64%	153.92%
参考指数	0.73%	-1.05%	0.26%	2.67%	6.17%	36.44%	172.40%
差	-0.07%	-0.10%	-0.17%	-0.38%	-0.82%	-2.80%	-18.48%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産のベンチマーク 収益率に、各基本配分比率を乗じて算出したものです。

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	9.7%	10.0%	-0.3%
日本債券マザー	30.6%	30.0%	0.6%
外国株式マザー（ヘッジあり）	24.6%	25.0%	-0.4%
外国株式マザー（ヘッジなし）	15.1%	15.0%	0.1%
外国債券マザー	20.0%	20.0%	0.0%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

（注）対信託財産純資産総額比



・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットH7 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス50VA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とします。外国株式部分のうち25%については、為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となるマザーファンドの運用状況

作成基準日: 2026年10月30日

●日本株式インデックス・マザーファンド

ファンドの特色:
① 日本の取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、TOPIX（東証株価指数、配当込み）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 株式組入比率は原則として信託財産総額の50%超を基本とします。
③ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	−3.49%	−0.03%	7.51%	21.69%	88.86%	334.94%
ベンチマーク	−3.48%	−0.04%	7.54%	21.71%	88.79%	332.87%
超過収益	−0.01%	0.01%	−0.04%	−0.02%	0.07%	2.07%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年5月21日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　組入銘柄数　1,663銘柄

銘柄名	業種	純資産比
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.6%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.5%
リクルートホールディングス	サービス業	2.5%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.3%
ソニーグループ	電気機器	2.2%
合計		13.2%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

●日本債券インデックス・マザーファンド

ファンドの特色:
① わが国の公社債等を主要投資対象とし、NOMURA-BPI総合に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 債券組入比率は原則として高位を維持します。
③ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.75%	0.49%	−0.61%	−5.18%	−9.14%	6.78%
ベンチマーク	1.76%	0.48%	−0.65%	−5.23%	−9.22%	6.54%
超過収益	−0.01%	0.01%	0.04%	0.05%	0.08%	0.24%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年5月21日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　組入銘柄数　371銘柄

銘柄	クーポン(%)	償還日	純資産比
第158回利付国債（5年）	0.100	2028/3/20	1.4%
第368回利付国債（10年）	0.200	2032/9/20	1.4%
第359回利付国債（10年）	0.100	2030/6/20	1.4%
第373回利付国債（10年）	0.600	2033/12/20	1.3%
第363回利付国債（10年）	0.100	2031/6/20	1.3%
合計			6.8%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットH7 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス50VA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とします。外国株式部分のうち25%については、為替ヘッジを行います。

作成基準日: 2026年10月30日

主たる投資対象となるマザーファンドの運用状況

●外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

ファンドの特色:
① 日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 株式組入比率は原則として高位を維持します。
③ 外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。
④ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.88%	0.61%	5.96%	16.40%	97.88%	678.73%
ベンチマーク	0.90%	0.65%	6.09%	16.72%	99.58%	703.26%
超過収益	−0.02%	−0.04%	−0.13%	−0.32%	−1.71%	−24.52%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年5月21日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　　組入銘柄数　1,095銘柄

銘柄名	業種	国名	純資産比
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	5.7%
NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ	5.5%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	4.2%
AMAZON COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカ	2.6%
ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	1.9%
合計			19.9%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットH7 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス50VA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とします。外国株式部分のうち25%については、為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となるマザーファンドの運用状況

作成基準日: 2026年10月30日

●外国債券インデックス・マザー・ファンド

ファンドの特色:
① 日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債等を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 公社債への投資は原則として高位を維持します。
③ 外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。
④ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.39%	−3.05%	−3.04%	1.66%	21.87%	91.35%
ベンチマーク	1.41%	−3.05%	−3.02%	1.70%	22.02%	93.03%
超過収益	−0.02%	−0.01%	−0.02%	−0.03%	−0.15%	−1.67%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年5月21日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　　組入銘柄数　697銘柄

銘柄	クーポン(%)	償還日	国名	純資産比
アメリカ国債	3.500	2029/2/15	アメリカ	1.0%
アメリカ国債	4.250	2029/2/28	アメリカ	0.8%
アメリカ国債	3.875	2029/5/15	アメリカ	0.8%
中国国債	2.370	2029/1/15	中国	0.8%
中国国債	2.750	2029/6/15	中国	0.8%
合計				4.2%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】10月の国内株式市場は、月初はAI（人工知能）関連株への業績期待や日銀短観の改善を受けた投資家心理の改善を背景に堅調に推移しました。しかし、その後は中東情勢の緊迫化が重荷となったことに加え、AI関連投資の負担の大きさや投資の持続性を巡る懸念の高まりを受けて、軟調となりました。
【国内債券】10月の国内債券市場は、AI関連株の下落に伴う世界的なリスク回避と安全資産需要の高まり、米国債利回りの低下などを背景に大きく低下しました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.29%低下の2.78%となりました。
【外国株式】10月の外国株式市場は、AI関連投資の負担を巡る懸念の高まりが重荷となりました。一方で底堅い企業業績や、原油高を背景とした資源株高が相場を支えました。
地域別の騰落率は、米国市場が約1.0%の下落、欧州市場が約0.9%の上昇、アジア市場が約0.2%の上昇となりました。
【外国債券】10月の米国市場では、月前半はインフレ懸念や追加利上げ観測から金利が上昇しましたが、月後半はAI関連株の下落や追加利上げ観測の後退から金利が低下しました。米10年国債利回りは前月末比0.35%低下の4.93%となりました。

・当資料は、オリックス生命の、変額終身保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。